

令和7年度都立総合芸術高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・主体的、対話的、深い学びの充実	・各科目で、単元に沿って、対話を通じて、論理的、批判的に考える力を養い、各自の学びが深まったり広がるよう授業を工夫する。 ・上記を通じて主体的に国語を学ぼうとするマインドをつくる。	・レポートや小論文を通じて、批判的、論理的に書く力を養う。 ・大学共通テストに対応する力を養う。
地歴公民	主体的、対話的、深い学びと評価が一体化した指導の充実	定期的な教科会を開き、年間指導計画を共有し、指導の重点を確認したうえで指導に当たる。	BYODネットワークや、一人一台端末を活用した協働学習の実施。
数学	対話を通じた数学的活動	粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断する活動を取り入れた授業の実施	問題解決の過程を振り返り、考察を深められる活動を取り入れた授業の実施
理科	「探究活動」及び「言語活動」を踏まえた学習の充実	・科学的・論理的な思考をはぐくむ授業の実施。 ・生徒が自ら問いを立て、調べ、発表する授業の展開。	・ピアインストラクションを通して深い学びに結び付ける
外国語	「話すこと」の指導の充実	・本校生徒のESAT-Jの結果分析 ・学期に2回パフォーマンステストを実施（発表、Teamsで録音して提出など） ・ALTやJETの活用	・オンライン英会話の実施 ・民間英語試験（GTEC）受験（一年次）